

活動レポート

事業委員会

文責：事業委員 吉田 透

事業委員会主催 技術研修会(日帰りコース)報告

1. はじめに

平成30年度の事業委員会主催の技術研修会(日帰りコース)を以下の要領で開催しました。

技術研修会の主な見学内容について報告します。

- 日時：平30年7月27日(金)13:30～19:00
- 見学先・西2丁目地下歩道施工現場
 - ・創成川水再生プラザ・下水道科学館
- 参加人数：36人
- 懇親会：さっぽろビール園

滑化や安全性の向上、公共交通機関とのアクセス性向上、季節に左右されない都心全体の回遊性向上を目的として整備されています。

整備延長：約130m(通路部)、有効幅員：約6m、有効高さ：約3m、計画交通量：約18,000人/日

写真は、既設躯体の耐震補強をしたあとで見学のため壁の一部を外して見学させていただきました。



耐震補強のあと

2. 見学内容

(1)西2丁目地下歩道施工現場での事業説明

西2丁目地下歩道では、完成まじかできれいな状態の地下歩道を見学させていただきました。初めに札幌市土木部道路課の桜井特定街路担当課長と施設計画係の藤田さんより事業概要を説明していただきました。



札幌市藤田さんによる説明

2)西2丁目地下歩道

地下歩道は、沿道のさっぽろ創世スクエア、経済センタービル、市役所本庁舎と接続しており地下街から地下歩道を通り直接各ビルへ出入りできるようになっています。また、広告を歩道に掲出し広告料を地域の公共的な取り組み費用として充当するエリアマネジメント広告や市民交流プラザ等の情報発信の場として活用する計画となっています。



さっぽろ創世スクエア入口

1)事業概要

西2丁目地下歩道は、増加が見込まれる交通の円



5か国語の案内



地下歩道概要図



地下歩道大通方面



地下歩道での全体集合写真

(2) 創成川水再生プラザ・札幌市下水道科学館見学

1) 創成川水再生プラザ

創成川水再生プラザについては、下水道科学館の森館長より施設概要を説明していただきました。



森館長による説明

札幌市にある 10 の水再生プラザの 1 つ

で、札幌で初めて大規模水再生プラザとして昭和 42 年 4 月に運転を開始し、流入量の増加に伴い昭和 56 年 4 月からは、第 2 処理施設も運転を開始しています。また、平成 2 年に雨水ポンプ施設、平成 3 年に高度処理施設の運転を開始し、平成 9 年には、合流式下水道の雨水汚濁負荷の軽減と融雪を兼ねた雨水貯留管の運転を開始しています。



左から 流入水、高級処理水、高度処理水

また、第 2 処理施設の地下池槽設備の地上部を麻生球場、テニスコートとして利用し土地の有効活用を図っています。

現在は、処理区域面積 2,064ha、処理人口 223,000 人、処理能力 144,000m³/日の施設となっています。

2) 札幌市下水道科学館

下水道科学館は、平成 9 年 5 月に開館しましたが今年度 3 月 17 日にリニューアルオープンとなりました。科学館は、下水道に関わる仕事について体験しながら学べる施設にリニューアルされています。

館内は、1 階にワイドシアターや水環境インパクトウォーク等、2 階に下水道の仕事がわかる展示物のほか、地下 4 階で雨水貯留管(φ5,000mm)の実物(下写真)を見ることができます。



雨水貯留管

3. おわりに

見学会当日の札幌は、31.9℃と真夏日となり研修会にはちっと暑すぎる天候でしたが、見学先がいつでも室内であったことから快適に見学することができました。また、真夏日に加え見学の階段昇り降りでの疲れた体には、懇親会でのビールやジンギスカンは格別においしかったです。

今回も盛況のうちに無事見学会を終える事が出来ました。ご参加の皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



懇親会の様子